

【先-25】世界遺産合掌街道の防災・交通・観光・情報の総合拠点づくり調査(対象箇所:岐阜県白川村~富山県南砺市)

【実施主体】白川村 ①

平成25年度

目的

白川村から南砺市を結ぶ合掌街道(国道156号・304号)については、国土交通省中部地方整備局や北陸地方整備局、岐阜県や富山県、南砺市や白川村と行政間を跨ぐため、様々な施設間の重複や事業の制約が生じている状況にある。

このような状況の中、本調査では世界文化遺産合掌造り集落、道の駅やJR城端駅など主要施設間等を対象に防災、交通、観光や情報などの視点から官民連携による施設間連携の在り方について検討する。

目次

1. 調査概要
2. 地域資源の整理
3. 上位計画の整理
4. 地域における課題
5. 整備基本計画
6. 官民連携可能性検討

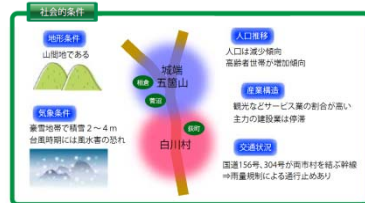
これまでの経緯

- H19.11 合掌街道沿いの自治体や有志が集って民間組織「世界遺産合掌街道実行委員会」を設立
景観保全と地域おこしをスタート
- H21. 5 民間による合掌街道清掃活動
- H21.12 民間による白川郷・五箇山を考えるシンポジウム開催
- H22. 2 民間による飛騨地域風景街道勉強会開催
- H25. 3 「白川村観光基本計画」を策定し、官民連携による観光づくり推進
- H25. 3 「南砺市交流観光まちづくりプラン」を策定し官民連携による観光づくり推進



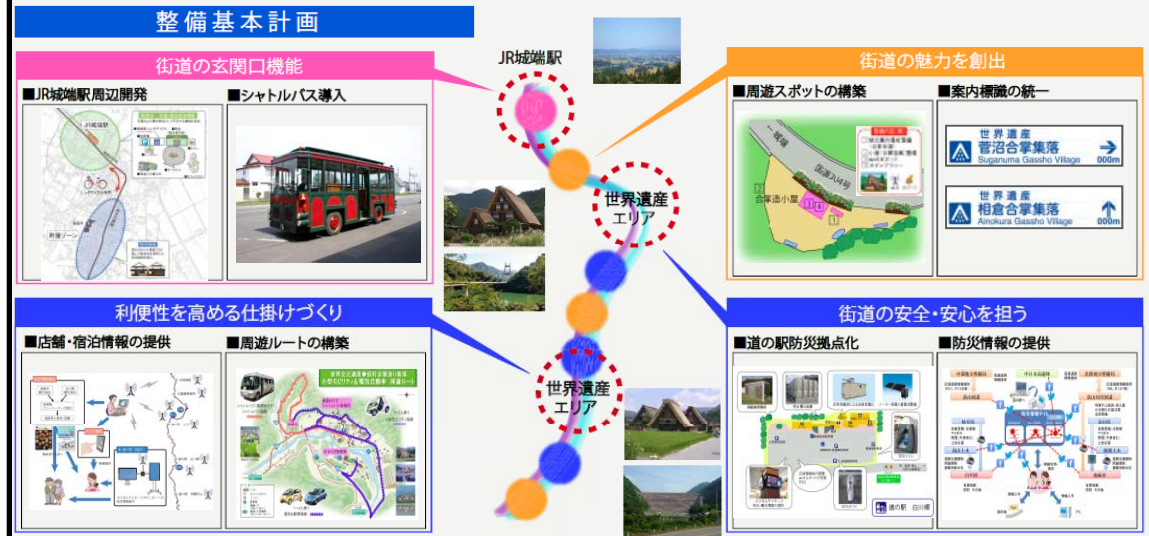
施設の概要

岐阜県白川村~富山県南砺市を結ぶ合掌街道(156号・304号)沿線の世界文化遺産合掌造り集落(白川郷と五箇山)、道の駅、JR城端駅を検討対象とする。



結論

官民が連携して、周遊スポット整備などで街道の魅力創出、道の駅防災拠点化など安全・安心対策、JR城端駅周辺開発を含めたシャトルバス導入などの玄関口機能、防災や店舗・宿泊の各種情報提供など利便性向上に取り組む。



【先-25】世界遺産合掌街道の防災・交通・観光・情報の総合拠点づくり調査(対象箇所:岐阜県白川村~富山県南砺市)

【実施主体】白川村 ②

平成25年度

結論(続き)

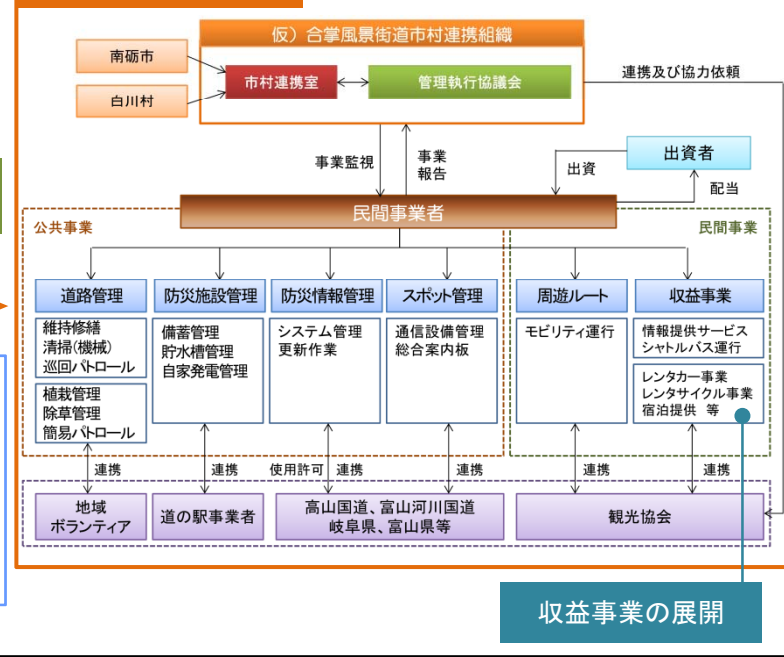
事業手法の検討結果

| | 整備及び維持管理方式 | | 維持管理方式 |
|--------|---|---|--|
| | PFI方式 | DBO方式 | 包括民間委託 |
| 利点 | ・ライフサイクルコストの縮減 ・責任所在の明確化 ・財政負担の平準化 ・金融機関の監視機能 | ・ライフサイクルコストの縮減 ・責任所在の明確化 ・PFIに比べ資金やSPCコストが不要 | ・民間の提案書負担は少ない ・PFIに比べ資金やSPCコストが不要 ・重複する施設管理に効果的 ・維持管理面での民間窓ロー本化 |
| 課題 | ・民間の提案書負担が大きい ・選定に時間 ・当該地域でのPFI等の事例は無い | ・民間の提案書負担が大きい ・選定に時間 ・当該地域でのPFI等の事例は無い ・金融機関の監視機能が働かない | ・金融機関等の監視機能がない ・民間の創意工夫が得にくい ・全国的には事例が少ない ・修繕等の役割分担明確化 |
| VFM結果 | ▲35%~▲17% | ▲17%~1% | 14% |
| 意向調査結果 | ・1年後の北陸新幹線開業に向けて早急な事業展開が必要 ・地元企業への配慮 ・シャトルバス、レンタカー等の参入意欲が期待できる事業者 | | ・早急な発注対応が可能 ・地元企業が参入しやすい |
| 導入可能性 | x | | △ |

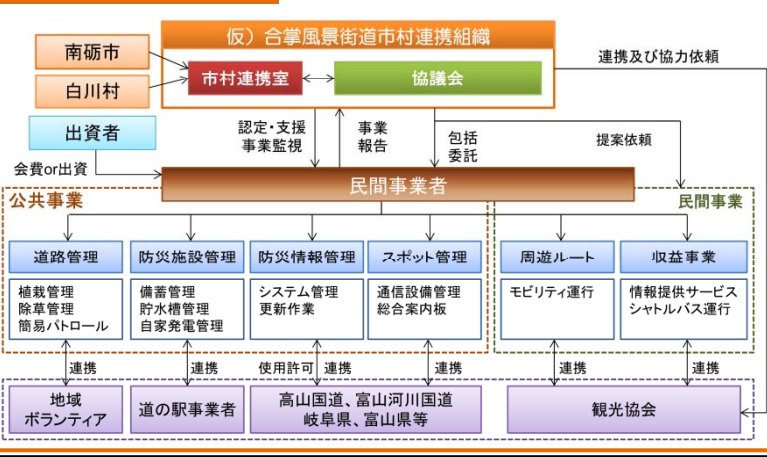
「地域包括型官民連携スキームの構築」

県境をまたぐ公共の連携組織を形成し、沿線施設の包括マネジメントを段階的に展開する。初期段階では包括的な民間管理による維持管理コストの低減、中長期段階では収益事業の拡大による事業全体のコスト低減を図る。

中長期段階



初期段階



管理体制に応じた組織形成

国、県、市村連携の防災情報システムの運用

各種団体と連携した道路維持管理体制

荻町合掌造り集落内EVモビリティの導入

事業化に向けた今後の展望

<今後の課題>

- ①市村連携組織の構築
- ②収益事業の可能性とリスク分担
- ③道路管理の在り方検討
- ④民間事業者参入に向けての募集方法

<今後のスケジュール>

市村連携組織を構築後、収益事業等の実証実験による導入可能性、包括管理の範囲や民間募集方法について検証。その後、公共施設管理を含め、民間事業者に包括発注を実施。

| 整備スケジュール | 初期段階 (1~3年) | 中長期段階 (4年~) |
|------------|--------------------------------------|-------------|
| 公共の一体化組織形成 | 組織形成、実証実験の分析 民間への発注方法の在り方 | 段階的な事業拡大 |
| 民間事業者 | 需要分析 維持管理・運営 | 収益事業 |
| 防災情報提供各種管理 | 実証実験等 | 管理・運営 |
| 荻町周遊ルート | 実証実験等 | 本格導入 |
| 収益事業 | 観光シャトルバスの導入 フリーペーパー発行 レンタカーの導入 | 本格導入・運行 |